

会報 ごぶし

北陸電波学校
北陸電波専門学校
北陸電波高等学校
金沢工業大学附属高等学校
金沢工業高等専門学校
国際高等専門学校
金沢工業大学

VOL.
65
2020.1



支部委員会が力強くサポート 全国の支部が積極的に活動

卒業 50 年セレモニー
躍進の道筋照らした
先輩を称え

KIT・ICT ホームカミングデー
卒業生が母校で
学生時代を思い出す

1982(昭和57)年に誕生してから38年。こぶし会は7万4000人を超える組織に成長し、その発展は、全国にある支部が支えています。各支部では、さまざまなアイデアを考え出し、会員たちが交流する機会を増やすことで、心の絆をより深めようとしています。今号では、支部をバックアップする支部委員会の活動内容とこれからの支部活動のヒントとなる取り組みを紹介します。



笑顔あふれた
会員同士の交流を！

全国の支部が積極的に活動 支部委員会が力強くサポート

支部委員会



■ 担当副会長

殿村 和也 (大学・土木・昭和57年卒)

■ 委員長

古橋 孝実 (大学・建築・平成8年卒)

■ 委員

水野 四郎 (保二会・電波高・昭和39年卒)

藤井 弘史 (大学・電子・昭和56年卒)

源野 統夫 (大学・建築・平成2年卒)

織田 正裕 (保二会・電波高・昭和38年卒)

嶋田 喜一郎 (高専・電気・昭和45年卒)

古屋 栄彦 (大学・機械システム・平成5年卒)

北川 信光 (大学・電気・昭和49年卒)

宮元 清 (大学・経営・昭和45年卒)

川畑 広明 (大学・土木・昭和58年卒)

大山 光則 (大学・建築・平成16年卒)

酒本 明広 (大学・情報・平成22年卒)

川端 里絵 (大学・環境システム・平成14年卒)

支部総会で小さな意見も 見逃さずに吸い上げる

支部委員会のメインとなる役割は、全国の支部が活動する際のサポートです。特に、各支部が参加する三つの行事については、審議内容の立案や連絡調整を実施しています。

一つ目の行事は、全国各地で開催される「支部総会(同窓の集い)」です。近年は、より参加しやすいように、「同窓の集い」と名称を変更するケースも増えてきました。

支部総会は、それぞれの支部の活性化に欠かせませんので、支部委員会の支部委員も必ず出席しています。



支部活動を応援するためには、細やかな配慮が欠かせません。大きなことから小さなことまで細やかに検討しています



支部委員が訪れるのは1支部とは限らず、場合によっては何カ所かの支部を巡ることもあります。

総会後の懇親会では、会員同士が交流を深めます。先生との再会を喜んだり、年々発展していく学園の様子に感心したりする姿が見られます。また、ざっくばらんな雰囲気の中で、こぶし会に対する忌憚のない意見を聞くことができるため、支部委員には支部とこぶし会をつなぐ役割も求められます。

新たな方向性を見だし 一歩ずつ前進していく

二つ目には、東北・北海道、東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄の地区ごとに開催している「支部長会議」があります。隣接する支部が集まり、互いに抱えている問題などを年に1回話し合っています。この会議で解決しない場合は「全国支部代表者会議」に議題として提示します。

三つ目は、年に1回、全国の支部代表者が一堂に会する「全国支部代表者会議」です。支部全体で共有しなければならない情報や解決すべき課題を話し合います。この会議から、こぶし会の新たな方向性が定まっていくわけです。

そして、全ての支部の意見をくみ取る役割もあります。活動の問題点を洗い出し、成功した事例を分析することで、「昨日より今日、今日より明日」と前進し



忙しい中、支部総会（同窓の集い）の開催に奔走する支部長のために、実りのある会合となるよう話し合います

ていくことを目指します。約100人が集まる会議は、いつも真剣勝負であり、支部の人たちの熱い思いが伝わってきます。

このほか、全国の会員とその家族が参加する「全国一斉ボウリング大会」といったイベントの実施についての支援を行っています。

支部に何ができるかを考える 会員が参加する仕組みを模索

このように、支部委員会はこぶし会の活性化のために頑張っている支部を応援しています。各支部が支部総会（同窓の集い）への参加人数の増加に尽力し、バーベキュー大会や地域の歴史を知るイベントなど、新たな取り組みを実践する中、支部委員会として物心両面から何ができるかを常に考えています。

支部活動を継続していくには、支部委員会の支援だけでは限界があり、会員一人一人の協力が欠かせません。支部委員会と各支部では、活動に参加したことがないという会員が参加したくなる仕掛けづくりを模索しており、より魅力的なこぶし会となるよう、今後も努力を続けていきます。



いろんな方々の支えで支部活動は成り立っています。その甲斐あって参加する会員には笑みがこぼれます

PICK UP 支部活動

各支部では、活動に参加する会員を増やそうと、オリジナリティーにあふれた工夫を凝らしています。そんな中から、面白い取り組みをしている7つの支部を紹介します。

アイデアあふれた取り組みで心を通わせる

関東こぶし会

七夕の時期に同窓会開催

東京、神奈川、千葉、埼玉の1都3県では1982(昭和57)年から合同で支部総会を東京などで開いています。第1回は、東京市ヶ谷の私学会館で開催。第2回は、会員の「日本の中心で開きたい」との要望から東京・銀座のレストラン高松に110人が集まりました。この成功をきっかけに、七夕の時期に開催する支部総会を「七夕同窓会」と呼び、こぶし会結成時に名称を「関東こぶし会(山口外茂二初代会長)」としました。

近年は、北陸新幹線金沢開業もあり、石川県の自治体との交流を進めるほか、会員が楽しめる企画やイベントも積極的に取り入れています。運営に携わった宮元清さん(大学・経営・昭和45年卒)は「関東こぶし会結成には、保二会、高専、大学の同窓会が一丸となって力を合わせました。その意志を受け継いで協力し合ってほしい」と話し、今後の活動に期待を寄せています。

■結成に尽力された皆さん

- 毎田 勇さん(保二会・電波高・昭和37年卒)
- 河原孝一さん(高専・電気・昭和46年卒)
- 宮元 清さん(大学・経営・昭和45年卒)
- 山口外茂二さん(大学・機械・昭和44年卒)
- 竹川利一さん(大学・建築・昭和49年卒)
- 浦 貢さん(大学・電気・昭和46年卒)
- 小林幸純さん(大学・土木・昭和46年卒)

七夕同窓会

岡山支部

誰でも参加できるイベントで結束を



岡山支部では、2014(平成26)年からバーベキュー大会を開催し、鳥取、高知、島根、広島、山口、愛媛の6支部も参加して、毎年約20人が交流を深めています。

きっかけは、出原道雄岡山支部長(大学・機械・昭和56年卒)の下に、角達之前鳥取支部長(大学・建築・昭和53年卒)が山陰の海の幸、岡山支部の藤本秀美さん(大学・機械・昭和51年卒)が山の幸を持ち寄り、3人が「合同でイベントを開催してはどうか」と話

バーベキュー大会

し合ったことでした。

そこで、バーベキュー大会を企画したところ、近隣の支部から幅広い年齢層の会員が参加することになり、米やマツタケ、イカなど各地の食材を持ち寄って集結しました。

これまで他の支部とは交流がなかったという出原支部長は「結束が強くなったと思います。これからも気軽に参加できるイベントとして続けていきます」と意気込んでいます。

沖縄支部

学生と連絡を取り合う環境を

沖縄支部では、2003(平成15)年から在学沖縄県人会とのつながりを深めています。交流を始めたのは、卒業生が沖縄県に戻った時に連絡を取りやすい環境を整えたいと思ったからです。全国支部代表者会議が金沢工業大学で行われる際には、学生に連絡して親睦会を開いています。

親睦会では、学生の相談に乗っているそうで、進路の悩みが多いと言います。その際は、いろんな経験を沖縄県

の発展に生かすため、「自分のやりたいことをやったらいい」とアドバイスしています。

この懇親会に参加した卒業生は、支部総会に参加するケースが増えており、荷川取学沖縄支部長(大学・電子・昭和63年卒)は「支部総会は20人の参加を目標にしています。先輩と後輩がタッグを組むことで、活気あふれた沖縄支部にしたいですね」と語ります。

在学沖縄県人会との交流



道東支部

支部総会を3カ所で開催

開催地をローテーション



道東支部では10年前から、支部総会を釧路、北見、帯広の3カ所に増やし、開催地を1年ごとにローテーションしています。それまでは、最も離れた会員は車で2時間以上もかかり、参加しにくいという意見がありました。

そこで、北海道東部を3つに区切り、新しく開催地を設けました。この効果で参加する会員は、各会場平均で10人から15人に増加しています。また、自分の家から遠い別会場に足を運ぶ人もいます。

國枝千秋支部長（大学・建築・昭和52年卒）は「新たな会員の参加で、先輩と後輩の新たな結びつきが生まれています」と喜んでます。

富山支部

出席者の増加につながる

講演会



富山支部では、約10年前から講演会を開催するようになり、これまでに5回実施しています。当初、少しでも集客力のあるイベントを企画したいと考えたそうです。

これまでのテーマは、ストレス解消や地域と企業とのかわり、会話テクニック、砂防、雷です。実際、関心が高いテーマだと出席者が増える傾向にあり、実際、多いときには以前よりも倍増することもあります。高岡、福井、長野の3県から聴講に来る人もおり、西田康博支部長（大学・電気・昭和52年卒）は「企画を充実させたい」と話しています。

静岡支部

大会で活躍する学生を応援

フォーミュラプロジェクト



静岡支部では、2017（平成29）年から毎年9月、静岡県で開催される「学生フォーミュラ日本大会」に出場する夢考房のフォーミュラカープロジェクトを応援しています。この大会は、5日間の日程で行われ、コースを走行する姿が見られる3日目か4日目に会場を訪れ、機体を調整している真剣な学生を激励しているそうです。

2017（平成29）年はプレゼンテーションが2位で、大学で身につけたスキルに感心したという勝又宏幸支部長は（大学・建築・平成2年卒）「地元開催の大会に参加する部活動や夢考房のプロジェクトを応援していきたいですね」と笑顔で話します。

徳島支部

ゆっくりと四国八十八箇所を歩く

遍路道ウォーク



徳島支部では3年前から、「健康を維持する」「ふるさとを知る」ことを目的に、四国八十八箇所の徳島県の23カ所の霊場をめぐる「遍路道ウォーク」を開催しています。

歩きたいと思っても、なかなか歩けない会員が、ゆっくりと話をしながら約10km歩きます。そして、地域が誇るお遍路文化を知るきっかけにもなります。また、順番に寺院を巡るため、毎年参加する会員が多く、仲間づくりに適しているそうです。

岡田晋支部長（大学・機械・昭和52年卒）は「1人でも歓迎ですので問い合わせてください」と参加を呼び掛けています。

5月

- **徳島支部**
25日(土) 18:30～
ザ グランドパレスホテル徳島 / 14人
独自の行事を開催するため、往復ハガキでの連絡や声かけによる勧誘により、参加者増につながりました。

6月

- **札幌支部**
1日(土) 18:30～
札幌ジャスマックプラザ / 27人
初めて参加した会員に参加の動機を聞いたところ、支部長からの一言メッセージが大きな要因となっていたようです。

- **静岡支部(静岡)**
7日(金) 19:00～
酒菜屋「大鉢小鉢」呉服町店 / 19人

- **静岡支部(浜松)**
7日(金) 18:30～
ローランシャンツウ / 11人

- **佐賀支部**
9日(日) 18:00～
ぎんえん / 2人

- **愛媛支部**
22日(土) 18:00～
ホテルサンルート松山 / 15人

- **大分支部**
22日(土) 18:00～
くじら1号 / 6人

- **青森支部**
28日(金) 18:30～
酒肴旬三ツ石 / 21人

- **岡山支部**
28日(金) 19:00～
サン・ピーチOKAYAMA / 15人

- **新潟支部**
29日(土) 18:00～
日本料理松風園藤作 / 27人

- **広島支部**
29日(土) 19:00～
ホテルセンチュリー21広島 / 12人

- **山口支部**
29日(土) 19:00～
なごみ白木屋新山口北口駅前店 / 8人



- **群馬支部**
6日(土) 18:00～
高崎ワシントンホテルプラザ銀座 / 9人

- **滋賀支部**
6日(土) 18:30～
お食事処 竹生 / 14人

- **和歌山支部**
6日(土) 18:00～
百楽和歌山シノワーズ / 12人

- **宮崎支部**
6日(土) 19:00～
祇園たちばな / 6人

- **秋田支部**
13日(土) 17:30～
秋田パークホテル / 12人

- **福井支部**
13日(土) 18:00～
福祉総合センター「あいあいプラザ」 / 15人

- **岐阜支部(高山)**
13日(土) 18:30～
喰楽かめ吉 / 14人

- **奈良支部**
13日(土) 18:00～
奈良ロイヤルホテル 竹の家 / 13人

- **関東ごぶし会**
19日(金) 18:00～
グレースバリ上野公園前店 / 50人

今後も会員同士の絆を大切に、年に一度の「七夏同窓会」の開会を目指して活動の継続を誓い合いました。

- **茨城支部**
20日(土) 18:00～
五鐵夢境庵 / 10人

- **岐阜支部(岐阜)**
20日(土) 19:00～
季づな宇を徳 / 21人

- **三重支部**
20日(土) 18:30～
四日市都ホテル / 15人

- **京都支部(京都)**
20日(土) 18:30～
がんこ高瀬川二条苑 / 21人

- **高知支部**
20日(土) 18:30～
浪漫亭 / 8人

帰省中の大学4年次が出席し、先輩との交流を喜ぶ姿が見られました。卒業後は金沢に残るものの、今後も交流を続けたいとのことでした。

- **道東支部**
27日(土) 18:00～
オホーツクビール / 16人

- **京都支部(福知山)**
27日(土) 18:30～
食房「和楽」 / 9人

- **鳥取支部**
27日(土) 19:00～
炉端かば 倉吉店 / 8人

- **島根支部**
27日(土) 19:00～
こここ / 8人

- **京都支部(舞鶴)**
28日(日) 18:00～
ホテルマーレたかた / 7人



7月

- **山梨支部**
5日(金) 18:30～
CAFE & WINE TROLL / 11人

- **香川支部**
5日(金) 19:30～
神童ろ / 5人

- **岩手支部**
6日(土) 19:00～
遠野食肉センター / 13人

- **栃木支部**
6日(土) 18:30～
本格海鮮居酒屋「海蔵」JR駅東口店 / 9人
会社を営んでいる会員が多く、人材確保が難しい時代にあることから、採用面で協力してほしいという要望がありました。



8月

- 福島支部
3日(土) 18:30～
料理旅館 田事 / 14人
- 福岡支部
3日(土) 18:00～
英彦山温泉しゃくなげ荘 / 6人
- 宮城支部
31日(土) 18:00～
心平 / 11人

- 愛知支部(名古屋)
31日(土) 19:00～
ホテルサンルートプラザ名古屋 / 12人

「支部総会に大学の先生が参加してほしい」「多種多様な分野で活躍している卒業生とのネットワークを築いていないのはもったいない」という声が聞かれました。



9月

- 高岡支部
7日(土) 18:30～
ホテルニューオータニ高岡 / 27人
- 愛知支部(豊橋)
7日(土) 19:00～
キュージーン ボレロ 吾妻家 / 10人
- 長崎支部
14日(土) 18:30～
懐石 雅 / 4人
- 鹿児島支部
28日(土) 19:00～
魚将さかなちゃん / 3人



10月

- 富山支部
12日(土) 17:30～
富山地铁ホテル11F「アルシェフ」 / 20人

「あなたのストレス度チェックと解消法」と題した講演があり、福井、高岡、岐阜、長野の4支部から合計4人が出席しました。

- 熊本支部
12日(土) 18:30～
西銀ぼたん / 5人

11月

- 山形支部
2日(土) 19:00～
焼鳥「づばら本店」 / 11人
- 大阪・兵庫支部
9日(土) 18:00～
鶏と魚と野菜とMomiji / 14人



※長野支部は日程が決まり次第、ご連絡させていただきます。

お知らせ

沖縄支部総会

2020(令和2)年
1月25日(土) 19:00～
ホテルサンパレス球陽館

東北・北海道地区支部長会議

異業種交流会開催を検討

2019(令和元)年度東北・北海道地区支部長会議が7月14日、秋田県秋田市の秋田パークホテルで開かれ、道東、札幌、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島の支部代表者ら22人が出席しました。会議では、福島支部が「会津地区で異業種交流会の開催を検討している」、札幌支部が「返信したくなるようなハガキの作成に力を入れている」、山形支部は「SNSを通じて30代会員と横のつながりを深めている」などと報告しました。また、各支部がコミュニケーションを取ることで活性化を図ることを確認しました。



近畿地区支部長会議

名称変更で参加者が増加

2019(令和元)年度近畿地区支部長会議が6月29日、兵庫県姫路市のホテルモンテレ姫路で開かれ、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の支部長ら13人が出席しました。会議では各支部が活動を報告し、滋賀支部は「総会を『親睦の集い』に変更したところ参加者が増えた」、大阪支部は「楽しいだけでは活動が続かないため目的を持つようにしたい」といった意見が聞かれました。また、支部総会の出欠をホームページで申請できるようにすると良いのではないかとこの声もありました。



東海地区支部長会議

各研究室に声かけを

2019(令和元年)度東海地区支部長会議が9月21日、三重県津市の第一ビルで開かれ、岐阜、静岡、愛知、三重の支部代表者ら11人が出席し、支部活動について話し合いました。岐阜支部は「参加者を増やすために各研究室で声かけてほしい」、静岡支部が「SNSアプリに13人が登録した」、愛知支部は「各地区代表理事がテレビ会議などで参加できる環境を整えてほしい」、三重支部が「一人でも多くの人に参加を呼び掛けたい」と話し、各支部が情報を共有していくことの重要性を確認しました。



大空に響く戦闘機の轟音

文化講座

保二会の文化講座は2019年（令和元）年9月15日、航空自衛隊小松基地で開かれ、会員ら約20人が間近で響く戦闘機の轟音に驚きの表情を見せました。

小松基地の特別見学会に併せて実施した文化講座では、はじめに竹島茂孝会長（昭和40年卒）が「小松基地に入る機会は少ないと思いますので、ぜひ楽しんでください」と挨拶しました。参加者はまず、日本海側で唯一の戦闘機部隊が展開する小松基地の想像以上の広さに目を見張り、国内で主力の「F-15 戦闘機」などが展示されているエプロンを訪れました。真つ青な空の下、目の前でF-15 戦闘機が急上昇や急旋回の飛

行を実演し、参加者はその迫りに心を奪われました。

さらに、航空祭に併せて参加した航空自衛隊松島基地所属のブルーインパルスが事前訓練を行い、一糸乱れぬ飛行を繰り広げると、「すごい」という歓声が上がりました。また、格納庫内では、コックピットに試乗したほか、エンジンやミサイルを間近で見学しました。

この後、参加者は小松駅前にある「こまつの杜」を訪れ、小松市が生んだ世界的な企業・コマツが製造する建設機械について学び、タイヤの直径が4mもある930E ダンプトラックを見上げました。



文化講座に参加した皆さん



救助訓練を行う航空自衛隊のヘリコプター

※ 次回は陸上自衛隊金沢駐屯地を訪問する予定です。

兼六園と成巽閣を見学

第15回金沢歴史探訪

第15回金沢歴史探訪が2019（令和元）年10月5日、多くの観光客が訪れる金沢市の兼六園周辺で会員ら14人が参加して開かれ、日本三名園の一つとして名高い大名庭園の美しさに引き込まれました。

この日の案内役は、観光ボランティア

アガイド「まいどさん」的場登さんが務めました。金沢歴史探訪は兼六園からスタート。はじめに的場さんは「兼六園は全国で23カ所しかない特別名勝で、国宝と同等の価値があります」と話し、兼六園の希少性を強調しました。

この後、的場さんの解説で園内を散策し、日本庭園の中で4番目に長い橋である黄門橋では「橋に使われている石は、1枚石を2枚石に見えるように加工しています」と話しました。また、兼六園発



長い年月をかけて完成した兼六園をくまなく巡りました

祥の地とされる^{れんちてい}蓮池庭があった^{ひまじけ}瓢池、13代藩主^{なりやす}齊泰が近江八景のひとつ「琵琶湖の唐崎」から種を取り寄せて大切に育てた名木「唐崎松」などを見学しました。

続いて13代藩主^{しんりゅういん}齊泰が母・真龍院のために造営した成巽閣を訪れました。ここでは、一般公開されていない「^{せいこうけん}清香軒・^{せいこうしょいん}清香書院・^{ひかくてい}飛鶴庭」を見学し、雪深い冬の間でも茶事ができる建築物や、優美な平庭造りの庭に感心していました。



金沢歴史探訪に参加した皆さん

世代を越えた交流の継続を

第5回交流会

工大祭に併せた第5回交流会は2019（令和元年）10月19日、金沢工大23号館で開かれ、会員や学園関係者ら約20人が出席し、親睦を深めました。

交流会では最初に、中田政之会長



交流会に参加した皆さん

（昭和61年卒）がこれまでの機扇会活動内容、交流会の様子などについて話した後、「同窓生同士の交流によって親睦を図り、卒業生の幸せが母校の発展につながります。また、世代を超えた交流を継続し、活性化することによって、いつかきっと幸せが見つかります」と挨拶。今後も活動を継続していくため交流会やイベントを積極的に開催していくことを確認しました。



これからも世代を超えた交流を続けます

この後、参加した会員が和やかに歓談し、世代を超えた絆を築きました。また、懇親会では、食事を取りながら盛り上がり、より一層の躍進を誓い合いました。

坂本先生の古希（70歳）祝う

宮崎・坂本研究室合同同窓会

宮崎栄一・坂本康正研究室の合同同窓会は2019（令和元）年8月31日、小松市の「のとや」で開かれ、全国から卒業生とその家族170人が参加し、坂本先生の古希を祝いました。

はじめに、坂本先生が「よりよい人生を送るために大切な『愛』』というテーマで特別講演し、「恋」と「愛」の違い、「愛の本質」などについて

熱く語りました。続いて懇親会が行われ、宮崎研究室3期生の後藤修一さん（昭和57年卒）が乾杯の音頭を取りました。久しぶりに会った先生とその奥さま、同期の仲間や先輩、後輩と、在学中の思い出や仕事などの近況について語り合い、連絡先の交換もしました。

卒業生の業種・職種は、電子部品関係はもちろん、システムエンジニ



河本さん（左）が坂本先生とご家族にエールを贈りました

アやサーバー管理、品質管理、プログラマー、農業などと多種多様でした。中には、東京オリンピックのマスコット2体のロボットを製作している卒業生もあり、共通の話題で盛り上がるなど、いつまでも会話が途切れませんでした。

最後に河本崇さん（平成2年卒）が坂本先生とご家族に対してエールを送りました。短い時間であったものの、先生をはじめ卒業生の皆さんが、これからも和を大切にし、「愛」のある人生を送る上で、実りある同窓会でした。



同窓会に集まった皆さん

けいこうかい
経工会

経営工学科・経営情報工学科・情報マネジメント学科・情報経営学科・経営情報学科

発想の転換で荒波を乗り切る

第36回異業種交流会

第36回異業種交流会は2019（令和元）年9月1日、ANAホリデイ・イン金沢スカイで開かれ、会員ら14人が出席し、北村プレス工業社長の金子肇さん（平成12年卒）が「中小企業がこれから生き残る道」と題して講演しました。

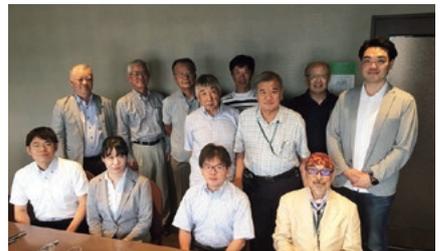
金子さんはまず、中小企業が抱える問題として後継者不足を挙げました。また、元気のある企業の例として、機械加工によるアルミの試作品に特化した「HILL TOP株式会社」を取り上げました。ディズニーやNASA

からも依頼があるという同社は、“遊ぶ鉄工所”をモットーに鉄工所をサービス産業と位置付け、社員のモチベーションを高めています。金子さんは「若者たちは活躍できるフィールドを求めている」と指摘しました。

最後に金子さんは、今までの「作れば売れる」というビジネスモデルは成り立たず、大企業であっても生きるか死ぬかの転換点を迎えているとした上で、「中小企業も発想を180度変える必要があり、大きなうねりを乗り越えてほしい」と語りました。



「企業が存続するには若者の力を取り入れてほしい」と話す金子さん



異業種交流会に参加した皆さん

第37回冬の異業種交流会

こぶし会会員ならどなたでもご参加できます！

- 日時 2020(令和2)年1月26日(日)
10:00～受付、10:30～講演
- 場所 ANAホリデイ・イン金沢スカイ
(金沢市武蔵町)

- 会費 2,000円
(昼食代込み、ただし講演聴講のみは無料)
- 講演 経営情報学科 北川達也先生(仮)「ESGの概要について」

お申し込み:前日までに経工会ホームページ参加フォームよりお申し込みください。

ながつき会

土木工学科・環境土木工学科

鼠多門と鼠多門橋に感嘆

現場研修会

現場研修会が2019（令和元）年8月3日、会員ら約40人が参加して開かれ、金沢城公園西側の玉泉院丸に位置する「鼠多門・鼠多門橋」と、日本海側の拠点港としての整備が進む金沢港を見学しました。

参加者は最初に、総ケヤキ造りの鼠多門で、外壁は海鼠漆喰、地覆石には戸室石を使うなど、史実に沿った復元の様子に目を凝らしました。また、スロープや階段昇降機を設置するなどバリアフリーへの対応にも関心を寄せました。さらに、かつて金谷出丸（現在の尾山神社）と玉泉院丸を結んでいた鼠多門橋では、橋を補強するためにメ

タルの補強材の上に木材で化粧貼りしていることに注目しました。

続いて訪れた金沢港では、金沢港湾事務所の宅美克基所長（昭和59年卒）が「金沢港のコンテナ貨物量は右肩上がりに増えており、クルーズ船も年間約50本が寄港している」とし、整備が待ったなしの状況であることを説明しました。その後、建設中の金沢港クルーズターミナルの内部を見学し、レストランや展望デッキ、観光案内、セミナールームなど魅力あふれた施設の誕生を心待ちにしました。



現場研修会に参加した皆さん



建造物を支える梁の大きさに目を見張りました

近江八幡の魅力に迫る

建築研修会

建築研修会は2019（令和元）年7月7日、会員とその家族、在学生ら37人が参加して開かれ、滋賀県近江八幡市にある菓子製造・販売メーカーの「ラコリーナ近江八幡」と近江八幡の歴史的な街並みを散策しました。

ラコリーナ近江八幡では、滋賀支

部の高橋賢司滋賀支部長（平成元年卒）の尽力で、一般公開されていない事務所内も見学させて頂き、特徴的な空間と形態を体感しました。また、お菓子づくりからパッケージデザイン、植物の育成までを丁寧に社内で行う企業理念とユニークな建築デザインとが相まって、年間約200

万人が訪れる理由を知ることができました。

近江八幡の歴史的な街並みの散策では、ボランティアガイドから「街並み」「ヴォーリズ建築」「近江八幡の歴史」について説明を受け、その魅力をたっぷ



近江八幡の美しい街並みにはため息が出ます

り実感しました。今回の研修会ではラコリーナ近江八幡が「新」、新町・八幡堀の歴史的な近江八幡が「旧」であり、その両面を存分に味わうことができました。

今後も建築研修会および交流事業が一体となった事業・活動を計画することで、会員・ご家族、学生との親睦を深め、技術向上・学園発展への寄与に努めていきたいと考えています。



建築研修会に参加した皆さん

卒業生と先生、在学生が交流

扇翔カフェ

「扇翔カフェ」と題した情報工学科、メディア情報学科の卒業生のための交流会（同窓会）を2019（令和元）年10月19日、金沢工業大学23号館214室で開催し、当日は天候の悪い中にもかかわらず、卒業生や先生方、在学生16人が参加しました。

はじめに情報工学科主任教授の中沢実さん（平成3年卒）とメディア情報学科副主任教授の鎌田洋さんが、情報工学科とメディア情報学科の現状と今後の展開についての説明がありました。鎌田先生は、現在の

4年生が取り組んでいる卒業研究の内容についても紹介しました。

続いて加原智彦会長の挨拶と乾杯の後、参加者はしばしの間歓談しました。卒業生は久しぶりに再会した旧友や恩師への近況報告を行うなど積極的に交流し、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。最後に加原



扇翔カフェに参加した皆さん

会長が「来年も学園祭に合わせて同窓会を行う予定です。皆さまの参加をお待ちしております」と挨拶し、閉会しました。



第19回



こぶし祭



卒業生が盛り上がった2日間

工大祭・高専祭と同時開催

毎年恒例となった「こぶし祭」。19回目を迎えた今回は、昨年と同様、工大祭・高専祭に併せて10月19・20日の2日間開催されました。全国の特産品を取りそろえた「こぶし屋」をはじめ、豪華賞品が当たった「大抽選会」、家族連れで工作に取り組んだ「手作り工作コーナー」など、多彩なイベントにたくさんの来場者が訪れました。



こぶし屋

支部が選び抜いた特産品が人気に!

こぶし屋には、全国47都道府県の支部から厳選した特産品が届きました。北海道の「醤油ラーメン」、岩手県の「盛岡温麺」、奈良県の「レインボーラムネ」、鹿児島県の「豚味噌」などが並び、来場者たちが購入しました。リンゴやミカン、大根、蓮根などの生鮮野菜も人気を集め、次々と完売札が貼られていきました。

こぶし庵

香り高いコーヒーで のんびりと休憩を!

こぶし庵では、石川県内で汲んできた名水で淹れたコーヒーをサービスしました。コーヒーに適した水を使っているから香りと味わいは別格。ゆったりと過ごせるスペースで家族連れやカップル、友人同士がコーヒーを飲みながら会話を楽しみました。

おいしいコーヒーで
おもてなしを



手作り 工作コーナー

空気砲など4つの 工作にチャレンジ

こぶし庵の一角に設けられたコーナーでは、ペットボトルを使った工作が人気を集めました。子どもたちは空気砲、けん玉、環状翼飛行機、水耕栽培装置の4つの中から1つを選び、こぶし会会員の指導で、親子が協力した作品が完成しました。早速、空気砲で遊んだ子どもたちは「空気が飛んできた!」と喜んでいました。

親子で協力する姿も見られました



KID'S CORNER

10月19日、20日の大抽選会では、子どもたちがおもちゃを手に入れました。



こぶし祭大抽選会「こ賞」当選者

豪華賞品がそろった大抽選会。幸運を引き寄せて当選された皆さん、本当におめでとうございます。



19(土)

電動アシスト自転車
酒本明広さん
(大学・情報・平成22年卒)



20(日)

50インチ4Kテレビ
小嶋里奈さん
(地域の方)

お楽しみ抽選会 当選者発表

クイズの答え

令和

全国の会員から応募いただいたクイズの主な当選者は次の皆さんです。その他の当選者の方々はホームページ上で発表しています。



デジタルカメラ

古賀文生さん(大学・電気・昭和47年卒)



トースター

島崎雅史さん(大学・建築・平成10年卒)



ヘッドライヤー

本多史和さん(大学・電気電子・平成25年卒)

イベント 企画

吹奏楽部&寄席で 祭を盛り上げる

多くの来場者でにぎわった「こぶし祭落語会」では、まず、三遊亭ぐんまさんが前座を務め、続いて三遊亭白鳥師匠が創作落語「隅田川母娘」を披露し、軽妙な語り口で会場を笑いの渦に包みました。また、野々市明倫高校吹奏楽部1～2年生の部員36人が「シングシングシング」、「パプリカ」、「クラウディオ」、「学園天国」の4曲を演奏すると、会場からは大きな拍手が巻き起こりました。



100km 歩行応援隊

めった汁で学生たちを激励

工大祭恒例の「100km 歩行」に、今年も大学同窓会の有志が駆けつけ、参加した学生をめった汁と栄養ドリンクで励ましました。前日からの雨が上がった10月20日午前5時30分、休憩地点「アクロス高松」には予定よりも早く学生が次々と到着しました。料理の準備が追いつかないというハプニングを乗り越え、熱々のめった汁を学生に振る舞いました。



あいさつ



こぶし祭実行委員長

中橋勝美さん (保二会・電波高・昭和41年卒)

初日は雨に見舞われましたが、多くの方に来場していただき、ありがとうございました。何事も楽しむことが大切と考え、私たちがまず楽しんで祭りを盛り上げました。今年の工大祭のメインテーマ「BEAR FRUITS ～実り～」には、樹木が蓄えた栄養で果実を实らせる様子を表現したそうです。こぶし祭は来年で20回目を迎えます。継続して蓄えた果実を实らせてほしいですね。

来年は20回目だよ！
楽しみにしてくださいね♪



卒業生が母校に帰り、学生時代を思い出す

工大祭・高専祭に併せたホームカミングデーは、2019(令和元)年10月19日に金沢工業大学、10月19・20日に国際高専でそれぞれ行われました。

KIT | 金沢工業大学

KITホームカミングデーは21号館で開かれました。はじめに、大澤敏学長が「同窓会に参加すると学生時代の記憶と心がよみがえります。短い時間ですが卒業生と在学生の親睦を深めてください」と挨拶。卒業生は学科ごとに分かれ、互いの近況や学生時代の思い出話に花を咲かせました。



鈴木弘樹さん
あゆみさん夫妻
情報・昭和63年卒

母校で結ばれた縁

私たちは4年生の時、同じ研究室に所属し、当時はゼミの仲間でした。ところが、ひょんなことから同じ会社に就職し、気づけば結婚していたから不思議なものです。私たちは母校で学んだという縁で結ばれていたのでしょう。来年、息子が金沢工業大学を受験します。この学習環境が整った母校で学ぶのかと思うと感慨もひとしおです。



嶋崎啓介さん
環境化学・平成23年卒

来年も参加したい

今年は土佐光司教授が参加すると聞いていたので、必ず出席しようと思っていました。久しぶりにお目にかかれてうれしかったですね。実際に母校に戻ってくると勉強で大変だったことを思い出しますが、その中で培った人間力は改めて大きな力だと実感します。来年もホームカミングデーに来たいと思っています。



詠史朗さん
建築・平成16年卒

この季節に友人が集まる

卒業してから初めてキャンパスを訪れましたが、景色が一変して本当に驚きました。これほど施設が充実していると思いませんでした。今年、ホームカミングデーに参加しなかった友人を誘って、来年は一緒に楽しみたいですね。この季節になると毎年友人が集まる。このイベントがそんなきっかけになってくれるとうれしいです。

ICT | 国際高専

国際高専ホームカミングデーでは当日、卒業生が次々と校舎を訪れ、会場は野中正樹高専同窓会会長らが卒業生を出迎えました。



大田快津馬さん
電気・平成19年卒
由佳さん夫妻
機械・平成19年卒

国際高専への入学を目指す

卒業後に何度か母校を訪れています。今回は、生まれたばかりの子どもを恩師に見せるのが目的です。金沢高専は国際高専へと変わりましたが、金沢高専の名前は永遠に残ると考えています。15年後には、私たちの子どもが15歳になります。国際高専に入学できたらと思いますので、私たちも頑張っていきます。



南貴一郎さん
電気・平成19年卒
石浦智也さん
電気・平成19年卒

ニュージーランド留学が印象的

母校を訪れて思い出されるのは、ニュージーランド国立オタゴポリテクニクへの1年間の留学です。私たちの年からプログラムがスタートし、とても素晴らしい経験ができましたね。また、電子計算機部の空気感は昔と変わらないと思います。プログラミングコンテストに出場するため、寝る間を惜しんで作業したのが懐かしいです。



櫻井忠雄さん
電気・昭和43年卒

学生から最新知識学ぶ

私が金沢高専に通っていたときの知識は古くなっています。そこで、仕事上で分からないことがあったら、学生さんから最新の知識を学ぶため、時折、母校を訪れます。今日も学生さんに質問していましたが、嫌がらずに教えてくれますね。頭が柔らかく、発想力のある学生さんに接することができるのはありがたいです。

卒業 50 年セレモニー



(1段目左から) 松井洋さん、吉田光男さん、山野剛助さん※、丹野平三郎さん※、寺賀俊明さん、宮元清さん (2段目左から) 村田彰さん、竹森秀介さん、福田良二さん、水村峰夫さん、中江友久さん、南戸秀仁さん (3段目左から) 殿村和也大学同窓会長、大澤敏学長、松田真一こぶし学会会長、泉屋吉郎理事長、瀬河信一さん、三嶋昭臣さん※、坂本康正さん、稲見晃さん ※恩師の方々

躍進の道筋照らした先輩を称え

金沢工業大学の卒業 50 年セレモニーは 2019 (令和元) 年 10 月 19 日、約 40 人が出席して 26 号館 (チャレンジラボ) で開かれ、大学とともに歩み、歴史を紡いできた 2 期生の功績を称え、出席した 14 人に記念品を贈呈しました。

セレモニーでは、大澤敏学長が「卒業生の歩んだ道が金沢工業大学の発展と重なっており、皆さんは家族です。今後も若い学生を育てる役割を担ってください」と挨拶し、機械工学科

は吉田光男さん、電気工学科は瀬河信一さん、経営工学科は竹森秀介さんが代表して感謝の品を受け取りました。

この後、2 期生を代表して吉田光男さんが「金沢工業大学が優れているのは、現場を大切にしているところです。これからも現場第一主義で学生を育ててください」とお礼の言葉を述べました。最後に全員で校歌を斉唱し、セレモニーは閉会しました。

先輩からのメッセージ



機械工学科
昭和 45 年卒
吉田光男さん

学生の情熱に満ちる

私たちが卒業した後に完成したライブラリーセンターを見ると、学生時代の思い出がよみがえってきますね。私は三重県の熊野高専から金沢工業大学 3 年に編入学しました。20 歳の時に石川県に引越し、田んぼのあぜ道で雪を踏みしめた時の感動は今でも忘れられません。卒業研究では、自動車の排気ガスを触媒でクリーンにする研究に取り組み、試行錯誤を繰り返しました。キャンパスには、今も昔も学生の情熱に満ちています。これから金沢工業大学がますます発展することを祈ります。



電気工学科
昭和 45 年卒
瀬河信一さん

人生を有意義なものに

セレモニーに出席するため、久しぶりに母校に帰ってきましたが、学生のころの記憶が鮮明に浮かびました。当時の大学は開学したばかりで、ほとんど知られていませんでしたが、今では知名度が高く、卒業生として自慢です。大学を卒業して会社に入ってから、社会で役に立つ人間になれるよう日々研さんの毎日でした。そのような向上心が持てたのは、大学で人生のベースを築けたからであり、私の人生を有意義なものにしてくれました。この大学を選び、卒業できてよかったです。



経営工学科
昭和 45 年卒
寺賀俊明さん

本質見抜く生きる力を

私が大学に入学したころは、世の中の景気が上向いていました。ベンチャー企業が次々と誕生し、株式を公開する企業が急増するなど、「経営」という新しい学問が注目を集めていました。そこで設置されたばかりの経営工学科を選んだのです。学ぶほどに奥深い学問だと分かり、大学 4 年間、その面白さにのめり込みました。卒業後も会社員として経営の本質を考えていき、「人を育てる」ことの大事さに気づけたのは、物事を深く考えることを学び、生きる力を身につけたからだと思います。

日本を代表する近代建築に選定

金沢工業大学本館

1969（昭和44）年建築の金沢工業大学本館（1号館）が、「日本の近代化を物語る優れた建築」に選定されました。近代建築の記録と保存に取り組む国際学術組織「DOCOMOMO（ドコモモ）日本支社」が選んだもので、石川県内の施設としては初めてとなります。

ドコモモは1988（昭和63）年にオランダで設立され、現在はポルトガルに本部が置かれています。日本ではこれまでに、国立代々木競技場、阪神甲子園球場など、日本のモダン建築を代表する建造物が名を連ねています。

2019（令和元）年9月5日、選定プレート贈呈式が本館で行われ、ドコモモ・ジャパンの穎原澄子理事から泉屋吉郎理事長に選定プレートが渡されました。その後、水野一郎教授が「廊下の割合が通常の建築物の倍近くあり、

面積確保にコストがかかったが、経営陣がよく認めてくれました」と解説しました。

本館は、国立京都国際会館などを手掛けた大谷幸夫氏が設計されたもの

で、今回、コンクリート打ち放しの独特な外観と、学生たちが集うラウンジに吹き抜けを設け、学生と教員が共に学び集う象徴的な空間に仕上げている点などが評価されました。



モダン・ムーブメントを体現した本館の外観

白山麓キャンパス初の英語研修

アメリカで高専生3人

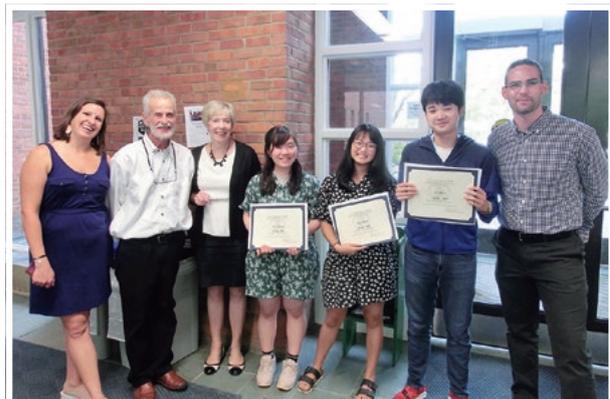
国際高専の海外英語研修が2019（令和元）年8月24日から9月14日まで、アメリカのセントマイケルズ大学で行われました。金沢高専時代を通じて26回目である今年は、白山麓キャンパスで学んだ学生が初めて参加しました。

この研修プログラムに参加したのは、国際理工学科2年の熊谷一花さん、本丸日菜さん、深山寧皇さんの3人です。今年は、セントマイケルズ大学の正規の英語授業に、他大学の学生とともに出席しました。

授業では、読解や文法、筆記の3技能を学んだり、会話や発声の練習に取り組んだりしました。また、クラスメートは中国人、サウジアラビア人など多様な人たちが集まっており、授業を受けるだけでなく、放課後も寮と一緒に時間を過ごすため、3人は大いに刺激を受けました。

最終日の9月11日には、セントマイケルズ大学英語プログラムディレクターのクリスティーン・ラマザーニさんが

ら研修プログラムの修了証が3人に手渡されました。14日に白山麓キャンパスに戻った3人は楽しかった22日間の思い出をかみ締めながら、今後の学習にいっそうの意欲を見せていました。



修了証を手に指導教員と記念撮影する3人の高専生

こぶし会の同窓会支援

こぶし会では、卒業生のクラス会や研究室（ゼミ）部活動等の同窓会の開催を支援する事業を行っています。2019（令和元）年6月から11月まで6団体を支援しました。

支援を行った6団体



石川県庁金沢工業大学卒業生同窓会



高専昭和43年電気工学科クラス会（ひよっこり会）



宮崎栄一・坂本康正研究室合同同窓会



剣道部OB・OG会



宮里心一研究室OB・OG会



後藤正美研究室25周年同窓会

支援の流れは以下の通りです

- 1 こぶし会事務局で申請書を入力
(電話・メール・ファクス)
- 2 2週間前までに申請
(会員の参加30人以上が条件)
- 3 代表者を確認して登録完了
- 4 集合写真で20人以上の参加を確認して支援

支援内容

1団体ごとに1人500円相当の金券もしくは記念品のいずれかを提供します。

こぶし会の国際交流事業支援



言葉の壁を乗り越える 学生が成果を発表

こぶし会は、国際高等専門学校と金沢工業大学が実施する国際交流プログラムをバックアップしており、参加した学生が成果を発表しました。



活動報告会では、2019（令和元）年9月8日から21日までインドネシアで実施された「ラーニングエクスプレス」に参加した金沢工業大学の12人が、現地での取り組みを説明しました。

マッシュルームのブランディングを担当したグループでは、マーケティングと栽培、生産管理について検討し、生産力の向上につながる試作機を開発しました。

また、現地の果物で作るサラクジュースの作業効率アップを目指し

たグループでは、まず問題点がないか洗い出し、やけどの危険性を回避した上で、両手で持てるザルや2層構造のフィルター、カップホルダーを搭載したプロトタイプを提案しました。

今回のプログラムに参加した学生たちからは、「物事を考えるときに日本の視点だけでなく、世界を意識するようになった」「言葉の壁があっても図や表、グラフで理解を深められることが分かった」といった感想が聞かれました。

委員会インフォメーション

2019（令和元）年に行われた第12回こぶし会総会に伴い、委員会のメンバーが替わりましたのでご紹介します。

企画委員会



企画委員会の皆さん



こぶし祭実行委員の皆さん

担当副会長

野中 正樹（高専・機械・昭和49年卒）

委員長

高木 由次（大学・経営・昭和50年卒）

委員

北山 博（高専・電気・昭和59年卒）

中島 俊幸（大学・土木・昭和50年卒）

早川 義造（高専・電気・昭和43年卒）

山島 一夫（保二会・工大附・昭和48年卒）

北川 千里（高専・機械・昭和57年卒）

瀬川 明夫（大学・機械・平成2年卒）

松田 茂喜（大学・電子・平成6年卒）

福田 良二（大学・経営・昭和45年卒）

南 茂樹（大学・土木・昭和57年卒）

岡島 康博（大学・建築・平成8年卒）

二飯田 一貴（大学・情報・平成8年卒）

福井 将世（大学・バイオ・平成21年卒）

会報委員会



会報委員会の皆さん



担当副会長

竹蔭 茂孝（保二会・電波高・昭和40年卒）

委員長

西谷 隆司（高専・電気・昭和53年卒）

委員

中野 忠史（保二会・電波高・昭和38年卒）

中田 政之（大学・機械・昭和61年卒）

加原 智彦（大学・情報・平成7年卒）

村井 宜延（大学・心理・平成22年卒）

百万 光生（大学・経営・昭和51年卒）

金森 洋三（保二会・電波高・昭和39年卒）

松浦 忠（保二会・電波高・昭和37年卒）

高井 武（高専・機械・昭和43年卒）

越田 鉄平（大学・機械・平成15年卒）

山本 成人（大学・電子・昭和52年卒）

今越 寛（大学・経営・昭和46年卒）

石富 智宏（大学・土木・平成元年卒）

荒木 忍（大学・建築・平成11年卒）

相沢 英之（大学・情報・平成20年卒）



写真左2人目から山本さん、佐藤さん、真鍋さん

社会で活躍!!

卒業生3人が南極へ 越冬隊として1年2カ月滞在

南極地域観測隊越冬隊に選ばれた金沢工業大学卒業生の山本貴士さん（大学・電子・平成8年卒）、佐藤貴一さん（大学・電気・平成14年卒）、真鍋仁志さん（大学院・電気電子・平成27年卒）＝いずれも国立極地研究所＝が2019（令和元）年11月14日、同大学を訪れ、出発前に任務への意気込みを語りました。

越冬隊は、2020（令和2）年1月上旬に昭和基地に到着し、翌年3月下旬に帰国する予定です。壮行会では、大

澤敏学長が「皆さんが極地観測を成功に導いてほしい」と激励。山本さんは「研究結果を人類延命のための材料につなげたい」、佐藤さんが「トイレなどを管理して隊員の生活を快適にしたい」、真鍋さんは「安定的な基地への電気供給で観測を支えたい」と抱負を述べました。

南極では、山本さんがオーロラなど宙空圏の観測、佐藤さんは基地内のゴミなどの処理、真鍋さんは電気を供給する発電機の制御を担当します。

第23回 こぶし会ゴルフ大会

木屋邦夫さん（高専・電気・昭和47年卒）が初優勝 団体戦は大学土木チームが栄冠

第23回こぶし会ゴルフ大会は2019（令和元）年9月8日、石川県加賀市の片山津ゴルフ倶楽部で開かれ、会員ら57人がゴルフを通じて交流を深めました。個人の部では、木屋邦夫さんが初優勝を飾り、保二会、高専（各学科）、大学（各学科）で競った団体の部では、大学土木チームが制しました。



個人優勝した木屋さん(左)

同級生3人とリラックスしてラウンドできたのが最大の勝因です。ラフが深いコースは難しく、スコアには満足していません。来年はもっといいスコアを出して、もう一度優勝してみたいですね。



団体の部で優勝した大学土木チーム

写真右から
新谷 繁隆さん（昭和55年卒）
西川 喜孝さん（昭和46年卒）
金田 利治さん（昭和61年卒）

個人 ネットの部

優勝 木屋 邦夫さん(高専・電気・昭和47年卒)
第2位 野村 耕二さん(大学・建築・昭和53年卒)
第3位 西川 喜孝さん(大学・土木・昭和46年卒)

団体

優勝 大学土木チーム
第2位 高専電気チーム
第3位 高専機械チーム

ベストグロス

内尾 祥映さん
(大学・土木・昭和48年卒)

サマーセッション in 穴水 2019

自然の中で深めた絆

2019(令和元)年 7月26日~28日

2年ぶりの開催となった夏休みのイベント「サマーセッション in 穴水 2019」が2019(令和元)年7月26日から3日間、穴水湾自然学苑で開かれ、全国から22組99人が参加し、アルタイル号での水遊びや魚釣り大会、工作教室などで豊かな自然に親しみました。

親・子・孫や友人同士で参加できるサマーセッションは、自然の中で絆を深められるイベントとして人気を集めており、リピーターも少なくありません。

サマーセッションの1日は「朝の集い」で始まり、参加者は互いに自己紹介をします。その後、研修船「アルタイル号」で能登島大橋までの湾内クルージングを楽しんだほか、船上の魚釣り大会でベ

ラヤキスなど釣果を競いました。親子工作教室では缶風車や身長計に取り組み、親子で協力しながら世界で一つだけの作品を仕上げました。

また、子どもに人気の海水浴では、ヨットハーバーに停泊した「アルタイル号」からライフジャケットをつけた子どもと大人が海に飛び込み、湾内に歓声が高まりました。



サマーセッション in 穴水 2020

今年の募集は1月にホームページ上で告知します。
皆さんの応募をお待ちしております。

こぶし会PRESENTS

Vol.16

クイズの学園

64号の
答え

KIT検定(上級編)の答え

パズルは下の通りになります。
パズル内のA~Eの文字を拾って並べると

A し B ん C じ D だ E い

となります。



クイズの学園 VOL. 17



ちょっとした気分転換ができる
クイズを用意しました。
ご家族で楽しんでください。



KIT検定(上級編)

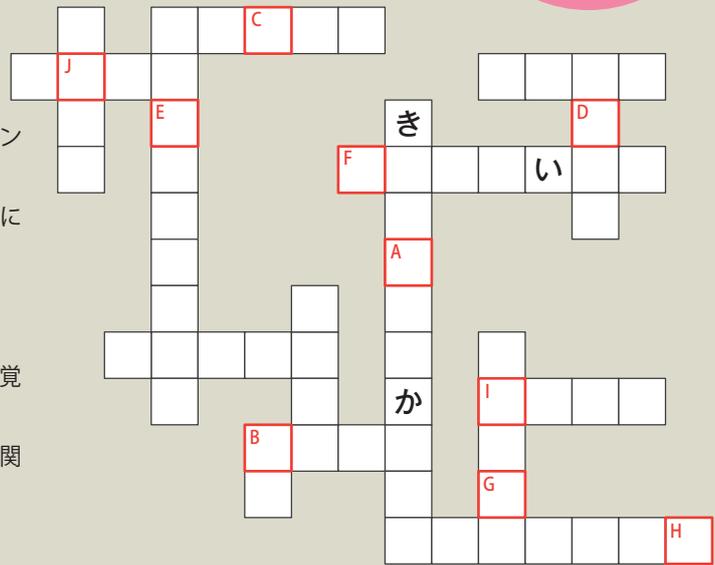
以下の金沢工業大学に関する記述のうち、まず○、△、□の部分をひらがなで埋めてください(○、△、□は各1文字)。それぞれの単語を表のマス目に残さずに当てはめ、A~Jに入る文字を順に並べてできる言葉を答えてください。

ヒント

スケルトンと呼ばれるパズルです。タテは上から下に、ヨコは左から右に単語を記入します。また、タテとヨコが重なる部分は同じ文字が入ります。

■ 学園のあゆみ^⑬ 平成25年~平成26年

- H25/3/1 ○○○○○○○○技術研究所開設
- H25/5 ○○○○県○○○○市と連携協定
- H25/7/1 ○○○○△△△△□□□□研究開発センター開設
- H25/9/28 ○○○○国立高等○○○○学校との学術協力に関する○○○○○○○○に調印(フランス)
- H26/3 石川県○○市と連携協定
- H26/3/19 ○○○○○○○○○ラボ開設
- H26/6/30 ○○○○○市工業大学との協力関係に関する覚書に調印(○○○○)
- H26/8/7 ○○○○○大学との○○○○○○○○○○○○○○○に関する覚書に調印(豪州)



【注意】○、△、□がつながって1つの単語(もしくは単語の一部)になっている箇所がありますが、これは○、△、□をそれぞれ1つの単語として分割し、それを表の各マス目に当てはめてください。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※学園のあゆみは、金沢工業大学ホームページの『教育情報の公表』の項目で、「教育情報公表資料」内の「付記 沿革」資料に掲載されています。

応募のきまり

■ 応募方法

同封しているインフォメーションカードにクイズの答えをひらがなで記入してお送りください。正解者の中から抽選で10名の方に3,000円分の図書カードをお送りします。なお、当選者の発表は賞品の発送を持って代えさせていただきます。

■ 締切

令和2年4月3日(金) 当日必着

■ 発表

正解は令和2年4月10日(金)にこぶし会ホームページ上で発表します。

インフォメーションカードの記入例



こぶし会会員の益々の 母校愛とご支援の高揚を



石川 憲一

特別奨学事業寄付金募集委員長
金沢工業大学名誉学長

節目の年を迎えて

新年明けましてお目出とうございませう。今年には56年ぶりに東京オリンピック・パラリンピックが開催される記念すべき年であります。このような希望に満ちた輝かしい初春を迎え、こぶし会会員の皆様のご発展とご活躍を祈念申し上げますと共に、従来から本学園に戴きましたご支援に衷心より感謝申し上げます。

本学園は1957年に創立以来、63年の歴史を着実に刻み、卒業生の総数は約75,000人を数え、国内外において活躍されています。多くの方々によって築かれた歴史と伝統の中にあつて、昨年度からホームカミングデーの一環として大学卒業後50年が経過した各位に対して学園から招待状を差し上げたところ、20数名の方々が多半世紀の星霜を超えて、母なる大学に戻ってこられました。このような催しへの参加は母校愛の高揚を益々促し、後輩諸君への偉大なロールモデルとして多くのインパクトを与えることにもなりますので、次年度以降も挙げて母校に参集して戴きたく思います。

支部総会並びに 交流会に出席して

こぶし会は全国に48支部を有し、毎年、全国代表者会議をはじめ各支部長会議をブロック別に開催してきています。私は2017年度に発足した工学アカデミア計画の一翼を担う「特別奨学事業寄付金募集委員長」を拝命致しましたので、学園を代表してブロック別支部長会議に参加してまいりました。2019年度は特にブロック別支部長会議が組織化されていない北陸信越地区の5支部（新潟、富山、高岡、福井、長野）のうち、長野を除く4支部総会に出席致しました。これら各支部総会・交流会に参加された卒業生各位は皆さんお元気で、従来の1.5～2倍の参加人数となり、各会場は大変活気に溢れた交流の場となりました。このようにこぶし会を構成する卒業生

一人ひとりと親しく言葉を交わし、近況を報告しあいながら旧交を温め、新たな人的ネットワークを拡大していくことこそ、こぶし会の繁栄に繋がる源泉であると実感した次第であります。

この度の支部総会において特筆すべき事柄がありましたので、ここに紹介させて戴きます。福井、高岡そして富山支部においては、北陸地方のこぶし会の活性化を目指して、支部長各位はそれぞれの支部総会に参加し、当該支部の活動状況を他支部の会員に紹介されていたことであります。このような情報交換はそれぞれの支部運営の参考となり、更なる母校愛の高揚をもたらすこととなるものと考えられます。この他、福島支部からは私に特別に参加のご要請があり、会津若松において開催された支部総会・交流会に参加し、元気な卒業生にお会いすることができました。

同窓会別の工学アカデミア計画 寄付金事業への支援状況について

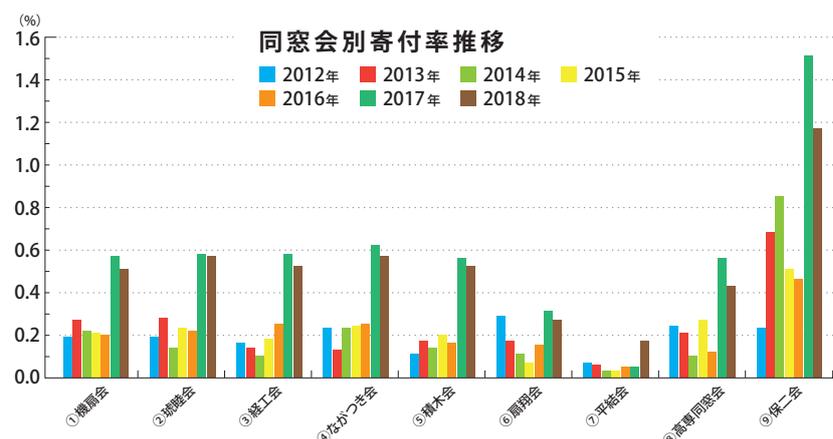
令和元年5月現在、こぶし会は、74,000人以上の会員数を数えております。中でも最大の会員数を有する大学同窓会にあつては、学系別に①機扇会（機械系 15,376人）、②琥睦会（電気系 13,870人）、③経工会（経営系 5,408人）、④ながつき会（環境土木系 7,552人）、⑤積木会（建築系 9,762人）、⑥扇翔会（情報系 9,834人）、⑦平結会（バイオ・化学系他 4,427人）の7つの同窓会があり、そ

れに加えて⑧高専同窓会（6,269人）、⑨保二会（2,228人）があり、各同窓会は独自の活動を行い、それぞれ成果を挙げてきております。

会報こぶし64号には都道府県別の工学アカデミア計画寄付金事業への支援状況を紹介致しましたが、本号では上記同窓会別による支援状況をご紹介致しますので、ご参照戴ければ幸いです。

新たなる展開のために

最近、近年のデジタル革命の著しい発展に対応するため「数理資本主義」と言うようなコンセプトが鮮明になり始めました。換言すれば、工科大高等教育機関における数理教育の重要性を明確化することによって、激変するサイバー環境に対応しグローバルに活躍できる人材の育成の必要性を明示したものと考えられます。このような動向を視野に納めながら本学園では確かな数理教育のもとに「自ら考え行動する技術者」の育成を目指しておりますので、こぶし会の皆様には母校で学ぶ後輩諸君のために更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶と致します。



卒業生が参加できる学びの場 KITリカレント教育プログラム

金沢工業大学では、社会人を対象としたリカレント教育を実施しています。知識や技術を修得するとともに教員や学生と連携した研究・開発に発展することにより、社会と学生が共に成長を図る教育を展開しています。卒業生の皆さんも教育プログラムに参加しませんか。

※詳細についてはHPをご覧ください。

KIT リカレント教育

検索

情報技術教育プログラム

- AIとビッグデータ(6科目)
- IoTとロボティクス(5科目)
- ICTと情報セキュリティ(2科目)

社会人共学者

- イングリッシュトピックス
- 半導体工学
- タンパク質工学

ポジティブ心理学と組織活性化

- ポジティブ心理学の基本
- ポジティブ組織論
- ポジティブアプローチの手法

原著から本質を学ぶ科学技術講座

本講座では、本学教員が講師を務め、所蔵されている科学技術に関する稀観本の解説と著者の執筆背景などを紹介します。

●問い合わせ こぶし会事務局 076-294-6375

鎮魂 (敬称略)

下記の方々がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

<特別会員>

平成31年4月 饗庭 貢
(元大学教授)

<正会員>

長谷川 智紀
(大学・ロボティクス・H28)

伊藤 衡基
(大学・土木・S63)

松寺 寛
(保二会・電波高・S41)

浅岡 武
(大学・建築・S50)

平成25年 河合 勝
(保二会・電波高・S37)

平成26年 窪田 良一
(大学・経営・S61)

平成28年 磯部 敏昭
(大学・土木・S46)

6月 山本 博
(大学・機械・S53)

8月 酒井 大輔
(大学・建築・H12)

平成29年1月 石垣 登志夫
(大学・土木・S51)

8月 中川 修
(保二会・工大附・S48)

11月 内海 剛
(専攻科・機械・S48)

12月 平川 裕一
(大学・機械・S51)

福山 直紀
(大学・土木・H11)

平成30年 湯浅 正司
(高専・電気・S45)

小山 尚樹
(大学・電子・H7)

牧野 秀計
(大学・土木・S61)

伊藤 博司
(大学・機械・S53)

1月 古屋 公明
(大学・土木・S52)

2月 小林 隆之
(大学・建築・S50)

5月 栗山 孝精
(高専・電気・H2)

6月 古川 直
(大学・電子・S55)

8月 宮本 康裕
(大学・建築・S60)

9月 加藤 雄二
(大学・機械・S48)

渡辺 修
(保二会・電波高・S40)

11月 木下 弘一
(大学・土木・S52)

松下 邦男
(大学・建築・S56)

12月 宮本 勉
(保二会・電波高・S37)

徳田 道広
(大学・電子・H5)

平成31年2月 久田 秀二
(高専・機械・S47)

大塚 克雄
(大学・物質システム・H23)

岩村 満男
(大学・電気・H15)

佐藤 隆志
(大学・建築・S53)

4月 和田 武浩
(大学・土木・H11)

中本 栄一
(大学・電子・S51)

横田 久敏
(大学・電気・S48)

令和元年5月 渡辺 正樹
(大学・経営・S62)

6月 菊池 哲夫
(大学・土木・S59)

長原 隆司
(大学・経営・S47)

7月 田嶋 伸一
(高専・機械・S46)

田方 新一
(大学・機械・S46)

木野内 毅
(大学・建築・S53)

8月 高田 聡
(大学・機械・S61)

東 卓司
(高専・機械・S45)

福田 訓行
(大学・機械・S63)

稲葉 章
(大学・電気・S47)

9月 中島 桂三
(保二会・電波・S32)

10月 宝金 一雄
(高専・電気・S43)

12月 上野 和夫
(大学・経営・S46)

INFORMATION

『会報こぶし』へ 皆さまの声を

■ 送り先 Eメール(kobushi@kanazawa-it.ac.jp)もしくは同封のインフォメーションカードをご利用ください。※個人情報に関する内容については掲載できませんのでご了承ください。

会員同士はもちろん、皆さんと学園をつなぐ唯一の情報誌である『会報こぶし』では、会員の皆さまからのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。



おわび

会報64号で掲載した「中国・四国地区支部長会議」の写真は「徳島支部」の誤りでした。左記掲載の写真が正しいものであり、訂正いたします。

編集後記

◆今号では支部活動について取り上げました。誌面からは、各支部が知恵を絞り、気軽に参加できる同窓会となるよう、頑張っている姿が垣間見られたと思います。このような活動に力を注ぐ原動力は何だと思いませんか。それは、一人でも多くのこぶし会会員が参加してくれることです。少しでも興味を持った方は、ぜひ一度、こぶし会活動に参加してみてください。参加してみると楽しいものです。

◆ところで、国際高専と金沢工業大学では、毎年10月のこぶし祭に併せて、卒業生が母校に戻ってくるイベント「ホームカミングデー」を開催しています。キャンパスでは、そこかしこで学生時代を懐かしむ卒業生が見られました。恒例のこぶし祭は今年、20回の節目を迎えますので、足を運んでください。
/記 T.N

■表紙の説明

支部総会

1段目左から道東支部、山形支部、岩手支部、2段目左から新潟支部、高岡支部、富山支部、3段目左から福井支部、岐阜支部(岐阜)、愛知支部(名古屋)、4段目左から京都支部(京都)、和歌山支部、岡山支部

全国一斉ボウリング大会

BOWLING

第25回

第25回全国一斉ボウリング大会が
2019(令和元)年11月2日から16日にかけて、
全国30支部30会場で会員212人、家族124人が熱投を繰り広げました。

西本真也さんが優勝



成績

会員の部

- 👑 優勝 428点 金沢会場 西本真也さん (高専・電気・平成8年卒)
- 👑 2位 382点 金沢会場 岡本勉さん (高専・電気・昭和43年卒)
- 👑 3位 380点 能登会場 谷内清秀さん (大学・経営・昭和51年卒)
- 4位 375点 富山会場 西崎晃さん (大学・電子・昭和54年卒)
- 5位 370点 東京会場 藤井雅文さん (大学・電気・平成2年卒)

家族の部

- 👑 優勝 372点 金沢会場 酒本慎二さん
- 👑 2位 353点 いわき会場 坂本操さん
- 👑 3位 350点 富山会場 西崎さおりさん

※スコアは2ゲームのトータルです。

国際高等専門学校 2020年度入学生出願受付中!

現在、2020年度の出願を受け付けています。入学試験について詳しく知りたい方は、入試センター (TEL:076-248-1080) までお問い合わせください。



	出願受付期間	試験日	試験場
一般入試A	1月7日(火)～1月16日(木)	1月25日(土)	金沢・東京・大阪
一般入試B	1月28日(火)～2月6日(木)	2月15日(土)	
自己推薦入試			

こぶし会を日本一の同窓会組織に! 同窓会維持会費納入のご案内

こぶし会では、1995(平成7)年度より「同窓会維持会費」制度を導入し、**満40歳以上の会員に年額1,000円を納入していただいております。**
74,000人を超える会員と各支部への活動支援、年2回の『会報こぶし』の発行など、同窓会活動の発展を図るために、ご理解とご協力をお願いします。対象となっている未納入の方には、払込取扱票を同封しています。

■会費の払込方法 郵便払込(3年分一括払い3,000円)
お近くの郵便局から同封の払込取扱票を利用して払い込んでください。住所等の訂正がございましたらインフォメーションカードでご返送ください。

対象者

- 保二会全会員
- 高専同窓会 2020(令和2)年3月末日で40歳以上の会員
- 大学同窓会 2020(令和2)年3月末日で40歳以上の会員

*会費の納入は80歳までとさせていただきます。
*2016(平成28)年度に3年分の同窓会維持会費の払い込みをされた方は、2019(平成31)年3月に期限が切れております。払込取扱票を同封させていただいた方はその該当者となりますので、払い込みくださいますようお願いいたします。

『会報こぶし』は、懐かしい学園の香りをあなたにお届けできる唯一の情報誌です。

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7番1号 金沢工業大学内
TEL.076-294-6375(直) FAX.076-294-0886
Eメール.kobushi@kanazawa-it.ac.jp URL.http://www.kobushi.jp



QRコードで
ホームページを
チェック!

こぶし会
事務局